

ハイキング部だより

第104回

平成24年(2012年)4月29日(日) 桜街道から浪漫伝説の多田銀山

日生中央駅～桜街道～静思館～銀山口～悠久の館～青木間歩～
村上新田～ジャリ池～猪名川総合公園～日生中央駅(約14キロ)

参加者 21名

気温26度。夏を思わせるような陽射しの中予定のコースを歩きました。静思館は、美術鑑定で財をなした富田という人が昭和10年に建築した建坪200坪の豪華な屋敷「旧富田邸」をよみがえらせた文化施設。代官所跡を対岸に見ながら悠久の館で食事をし、青木間歩を見学、ジャリ池を経て日生中央駅で解散しました。14キロという距離と暑さで皆さんちよっぴりばて気味だったかな？



第104回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 桜街道から浪漫伝説の多田銀山 ～

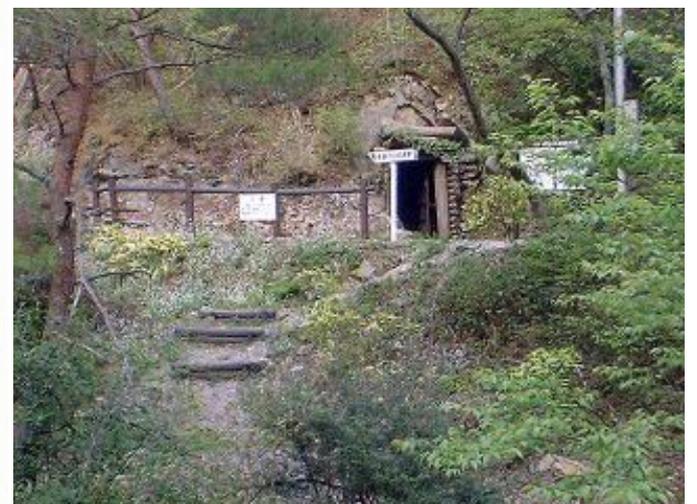
日時：平成24年4月29日(日)午前10時
能勢電鉄「日生中央駅」集合



コース：日生中央駅～桜街道～静思館～銀山口～悠久の館～青木間歩～村上新田～ジャリ池～猪名川総合公園～日生中央駅(約14キロ)

今回は、豊臣秀吉の黄金伝説など数々の歴史ロマンが伝わる猪名川町銀山を巡ります。

日生中央駅から600本の桜並木を歩いて猪名川町で最も大きい茅葺き家の一つ「静思館(旧富田邸)」に立ち寄り、銀山地区に入ります。「悠久の館」には多田銀銅山の歴史資料や実際に採掘された鉱石などが展示されており、「青木間歩」では坑内を見学することができます。そのあと近畿自然歩道を歩いて日生中央駅にもどります。

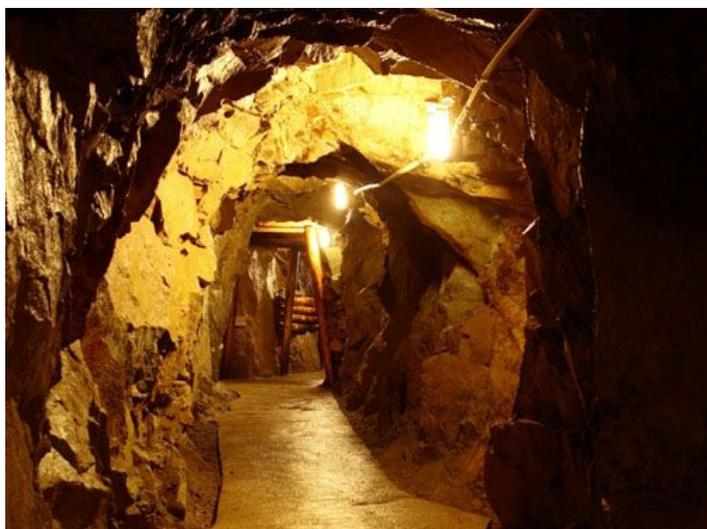


悠久の館～

“東大寺建立の際に銅が使われた” “科学者・平賀源内が立ち寄った” など、数々の伝承を持ち、その最盛期には2,000前後もの坑道が存在したと言われている「多田銀銅山」(現在は閉山)。その中心部だった銀山町の歴史を絵図や古文書の展示とともに紹介しています。また、豊臣秀吉と「ゆかりのある地」としても有名です。

青木間歩(あおきまぶ)～

「間歩(まぶ)」と言うのは坑道の意味。周囲にアオキが茂っていたことから、その名がついたといわれています。江戸時代に採掘されたと思われる手彫りの露天掘りと、削岩機などの機械を使って採掘された坑道との両方を楽しめます。



静思館～

茅葺き、総ひのき造りの母屋…。江戸時代の豪農の屋敷「旧富田邸」をよみがえらせた文化施設。当時の家具や道具が展示されています。

